

令和8年秋の褒章・叙勲

黄綬褒章
宇都健三郎さん（70歳・寿5丁目）
株式会社宇都電設代表取締役会長

旭日小綬章
中西茂さん（73歳・寿5丁目）
元鹿屋市長

瑞宝単光章
新牛込勇さん（80歳・上高隈町）
元鹿屋市消防団副分団長

令和８年秋の褒章・叙勲を市内在住の３人が受章されました。おめでとうございます。（年齢は受章時）

五穀豊穣を願う伝統行事





10月８日、和田井堰公園で県指定無形民俗文化財の「王子町鉦踊り」と市指定の「川東町八月口説踊」が奉納されました。いずれも旧暦の８月28日に水神様へ五穀豊穣を祈り踊られてきた、江戸時代から続く伝統行事。見物に訪れた人は勇壮かつ華麗な舞を堪能しました。

地元の看護学校から地域へ感謝を込めて



10 月３日、鹿屋看護専門学校で「オープンキャンパス・第19回白爛祭」が開催されました。オープンキャンパスでは体験学習や在校生との交流、白爛祭では「華～私たちらしく咲くこの瞬間を大切に～」をテーマに喫茶やバザー、血圧測定等が行われるなど、地域への感謝を込めたおもてなしが行われました。

様々なスポーツを体験！



10月12日、鹿屋体育大学で「スポーツフェスタinかのや2026」が開催されました。当日はテニスやゴルフなど計19種目のスポーツを延べ3,775人が体験。このほか、体操競技部特別演舞や学食ランチバイキングなども実施され、参加者は大いにスポーツに親しみました。

水面を彩る花火に感動！



10月11日、大隅湖周辺で「大隅湖レイクサイドフェスティバル2026」が開催されました。

当日はステージイベントや豪華賞品が当たる抽せん会など多くのイベントを実施。メインの音楽に合わせた色鮮やかな花火＆レーザーショーは、訪れたたくさんの観客を魅了し、感動を届けました。

本物の土器を見て、さわってドキドキ



10月３日、イオンかのやショッピングセンターで、古墳や文化財に関するパネル展示や、ラブヒコと一緒に学ぶ体験イベントが開催されました。当日は、本物の土器に触れる体験や文化財クイズなどが行われ、楽しみながら古代の生活を学ぶ子どもたちの姿が見られました。

195点の中から最高賞を受賞



10月1日、「第35回シルバー文化作品展」の洋画部門で県知事賞を受賞した「破壊」を描いた黒田陽子さんが市役所を訪れ、受賞の喜びを報告しました。同展は県内居住の60歳以上のアマチェアが制作した作品を対象としており、黒田さんは「絵を描き続けて良かった」とコメントしました。

芋づくしで「おいしいかのや」を満喫









10月17・18日、おいもフェスかのや（10/17～11/23）の「大甘諸祭」が開催されました。17日の前日祭では、出店のほか学生バンドによるステージなどで盛り上がり、18日の本祭ではサツマイモの詰め放題や食べ比べ、飲食店ブースの出店など「おいしいかのや」を味わえる一日となりました。

乳がんについて考える



10月10・11日、イオンかのやショッピングセンターで乳がんの早期発見・早期治療の重要性を啓発する、「ピンクリボンキャンペーン」が行われました。

心に響くバラードを熱唱



10月９日、市文化会館でかのやばら大使であるC&Kによるライブが行われ、会場は全国から集まったファンで埋め尽くされ、ファンは心に響く歌声に聴き入っていました。

子どもとの接し方を学ぶ



10月３日、市文化会館で俳優の菅田将暉氏を長男とする３兄弟の母、菅生好身氏による講演会が開催され、参加者は子どもとの接し方、食の大切さなどについて学びました。